2026 年 1 月 26 日作成　Ver.2

≪情報公開文書≫

膵頭十二指腸切除術における
歯の本数と術中低血圧の関連について

研究の概要

手術中の低血圧は心血管および脳血管イベントなど術後の重篤な合併症発生に関連することが報告されています。また低血圧の予防により合併症の発生を抑制できる可能性も示されています。手術前に低血圧のリスクを予測ができれば、手術前に十分な準備をすることができます。一方で、口腔内環境は全身状態に大きく影響することが知られています。歯の本数と手術中の血行動態との関連についてはこれまで検討されていません。膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんを対象として、手術前の歯の本数と手術中の血圧および昇圧薬使用量の関係について調べます。

【目的】
膵頭十二指腸切除術をうけた患者さんを対象とし、手術中の血圧および昇圧薬の使用量と手術前の歯の本数の関係を評価します。

【意義】
手術中の血行動態と口腔内環境の関連性を明らかにできれば、適切な周術期循環管理の目標を示すことができ、患者さんの合併症を減らすことができます。

【方法】
本研究は膵頭十二指腸切除術を受けた患者さんに関する既存情報を電子カルテシステムや手術室情報システムから収集します。収集したデータの統計解析を行い、手術中の低血圧の発生割合や昇圧薬の使用量を検討します。

対象となる患者さん

2018 年 4 月 1 日～2025 年 12 月 31 日に長崎大学病院手術室で、膵頭十二指腸切除術をうけた患者さんのうち手術前に口腔の診察を行った患者さん。

研究に用いる情報

●研究に用いる情報

下記の情報を診療録より収集します。

・患者因子:

手術直前の最新データ:年齢、性別、身長、体重、BMI、ASA physical status、心機能、弁膜症の詳細、心房細動の有無、血圧、心拍数、体温、血液検査データ、併存疾患、手術直前の歯の本数、手術直前の歯の状態

・手術・術中因子:

術式、体位、手術時間、麻酔時間、気腹時間、輸液量、輸血量、尿量、出血量、術中血液検査データ、カテコラミン使用量、平均血圧、心拍数、心拍出量、心係数、一回拍出量、体血管抵抗

・術後経過:

術後の血液検査データ、飲水開始日数、食事開始日数、術後入院期間、再手術の有無、術後合併症イベント、術後 28 日以内の心血管イベント、死亡退院・術後 28 日死亡

本研究で利用する情報等について詳しい内容をお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。

情報の利用開始予定日

本研究は 2026 年 3 月 5 日より「研究に用いる情報」を利用する予定です。

あなたの情報をこの研究に使われたくない方は下記の「問い合わせ先」までご連絡頂ければ対象者から外します。その場合もあなたの治療等に不利益になることはありません。

ご連絡のタイミングによっては対象者から外せない場合もあります。

あらかじめご了承ください。

研究実施期間

研究機関長の許可日～2027 年 3 月 31 日

研究実施体制

研究責任者	所属:長崎大学病院　麻酔科 氏名:西垣　明久 住所:長崎県　長崎市　坂本 1－7－1 電話:095(819)7370

情報の管理責任者	長崎大学病院　病院長

問い合わせ先

【研究の内容、情報等の利用停止の申し出について】

長崎大学病院　麻酔科　西垣明久（研究責任者）
〒852－8501　長崎市坂本１丁目７番１号
電話：095（819）7370　　FAX　095（819）7373

【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く）

苦情相談窓口：医療相談室　095（819）7200
受付時間　　：月～金　8：30～17：00（祝・祭日を除く）